

とけいのはなし

アルフレートの時計台

斉藤 洋 作 偕成社 913-サ

小児科の医者になったクラウドは、子どものころ暮らした町に戻ってきます。その町の広場には、友達だったアルフレートとよく話していた時計台がありました。時計台に行ってみると、扉に少しすきまがあります。クラウドは中に足をふみいれました。

ねぼすけ はとどけい

ルイス・スロボドキン 作 くりやがわ けいこ 訳 偕成社 E-ス

山おくの村に、小さなとけいやがありました。店の中は、はとどけいでいっぱい、とけいかなるたびに、はとがとびだして「ポッポー」となきます。でも、一わのはとだけはいつもおくれてでできます。村の子どもたちは、そんなはとどけいをみるのを、楽しみにしていました。ある日、村に王さまがやってきて、とけいやをのぞきました。

きかんぼのちいちゃいもうと その2

ドロシー・エドワーズ さく 渡辺 茂男 やく 福音館書店 933-エ

きかんぼのちいちゃいもうとは、おじいちゃんにチョッキはなぜニックノックっておしゃべりするのとききました。チョッキのボタンの上についている皮ひもをひっぱると、銀時計がでてきました。ちいちゃいもうとは、銀時計をととても気に入ります。（「おじいちゃんの銀時計」）

不思議の国のアリス

ルイス・キャロル 作 脇 明子 訳 岩波書店 933-キ

アリスが土手にすわっていると、白ウサギがすぐそばを走っていきました。ウサギは、チョッキのポケットから時計を取り出し、また走りだしました。アリスは夢中で追いかけて、ウサギがはいた穴に飛びこみます。

ねこどけい

きしだ えりこ さく やまわき ゆりこ え 福音館書店 Eーヤ

ことちゃんのいえには、はとどけいがあります。ねこのねねこがはとどけいとあそんでいるうち、はとはとけいからでてこなくなりました。ことちゃんは、ちかくのとけいやさんにはとどけいをもって行って、なおしてもらうことにしました。

海時計職人ジョン・ハリソン

ルイーズ・ボーデン 文 片岡 しのぶ 訳 あすなろ書房 289ーハ

18世紀まで、人は現在地を知らずに航海していました。航海している船が経度何度にいるのか知るためには、時刻を知ることが重要です。1714年、イギリスの議会は経度を測定する方法を見つけた者に懸賞をあたえる、と決めました。ジョン・ハリソンは、船がゆれてもくるわない時計を考えはじめます。

時計づくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ 作 あべ きみこ 訳 こぐま社 Eーア

ジョニーは、手先がたいへん器用で、ものをつくるのがじょうずな男の子です。ジョニーがいちばんお気に入りの本は、『大時計のつくりかた』という本でした。ある日、ジョニーはこの本をひろげているときに、大時計をつくろうとおもいました。